



赤こんりポート

東恵子リポーター



ゲートボールで広がる「生きがい」

市民総合スポーツ大会のゲートボール大会が10月23日、健康ふれあい公園屋根付き多目的広場で開かれ、各学区26チーム140人の皆さんが、どしゃ降りの雨の中集まり、プレーに没頭しました。「体調不良の人もなく全員で開けることがうれしい」と市ゲートボール連盟会長の松村一行さん。高齢者スポーツのイメージが強いですが、作新学院（栃木）や青森山田高校のゲートボール部は有名で、12月に全国高等学校ゲートボール選手権大会（中止）をこの広場で開く予定でした。松村さんは「ゲートボールの仲間を募集中です。楽しさが伝わるきっかけがあるといいですね」と話していました。

赤こんりポート

丸柱 真優佳リポーター



ヨシに未来をつなぐ

西の湖のヨシの加工業を営む安土町下豊浦の葭留（よしとめ）さん。ヨシ葎き屋根の修理や葎き替えの他にも、西の湖ヨシ灯り展などにも関わりヨシを守る活動もされています。当主の竹田勝博さん率いる職人さんの中には、唯一の女性職人・真田陽子さんがおられます。近江八幡出身の真田さんは、西の湖の美しい風景に感動しヨシ葎き屋根職人を目指されたそうです。敷地内には小さなヨシ葎き屋根のお家がありました。かわいいヨシに親しめるお家です。市内の公園にもあったらいいのになあ。

11月1日



みいちゃんのお菓子工房がグッドデザイン賞

不安や緊張から特定の場面で話せなくなる不安症「場面緘黙症」とたたかう杉之原みずきさんがパティシエをつとめる「みいちゃんのお菓子工房」(上田町)の取り組みが(公財)日本デザイン振興会主催の本年度のグッドデザイン賞の金賞の栄誉に輝きました。自分のお店を持ちたいという夢がクラウドファンディングと両親の資金を足して約5坪の小さなお菓子工房に結実したもので、今年1月にオープン。現在は学校に通いながら不定期で営業中です。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



仮装したよ！かわいいでしょ！

秋の収穫をお祝いし、先祖の霊をお迎えするとともに悪霊を追い払うお祭りであるハロウィン。秋空の下、三密に気を付けながら、0歳児から未就園児を対象に10月15日、金田コミュニティセンター前広場で子ども育成部会主催の親子わくわくランドの中で今年初めて開かれました。親に連れられ広場に集まった幼児たちは思い思いの仮装をしたり、手作りの新幹線や自動車に乗ったり、キャンディ釣りを楽しんだり秋の日差しを浴びながら楽しい時間を過ごしていました。

10月31日



安土の空に熱気球ふわり

「あづち・おいそ秋まつり」の一環で、東近江市の「八日市気球クラブ」の協力のもと安土町下豊浦の大中グラウンドで、23組の親子連れらが参加し、熱気球フライトが行われました。気球が風に流されないよう軽トラック3台とロープでつなぐ中、参加者は約1畝四方の籠に乗り込み、約3分間にわたり約30畝の上空から安土の景色を楽しみました。翌日には老蘇小グラウンドでも行われました。

10月31日



次世代への伝承めざし伝統の松明作製

地域の祭事として伝わる^{たいまつ}松明作りを次世代へ伝承することを目的に活動する「文化遺産としての松明を次世代へ贈る会」の主催により「ラ コリーナ近江八幡」で、北之庄・白王・島・千僧供の各町で受け継がれている伝統松明が現地で結い上げられ、約1か月にわたり多くの観光客の目を楽しませました。松明は2日間に分けて製作され、この日は、千僧供町の皆さんが縄で編むのが特徴の据え松明を時間をかけ丁寧に結っていました。

10月24日



市政発展などへの功績たたえ表彰

コロナ禍のため延期していた市制施行10周年記念市政功労者表彰式・感謝状贈呈式を市文化会館で開催しました。表彰を受けたのは市政の発展や公共の福祉、教育、文化、スポーツ、ボランティア活動などさまざまな分野で活躍・貢献された68人と1団体。受賞者の功績が式場正面に投影されるなか、小西市長から1人1人に表彰状などの授与が行われました。

11月9日



富士宮市「結ぶ会」霊峰の湧水を琵琶湖へ
30回の節目にヤマモミジの記念植樹も

本市と夫婦都市の盟約を結ぶ静岡県富士宮市の市民らでつくる「富士と琵琶湖を結ぶ会」のメンバー9人が来幡、富士山の湧き水を琵琶湖に注ぐ富士山霊水献水式を長命寺町水ヶ浜の琵琶湖畔で行いました。夫婦都市のきっかけとなった本市側の「富士と琵琶湖を結ぶ会」が毎年、琵琶湖の水を富士山頂に注いで富士の霊水を琵琶湖に返す取り組みに呼応し平成3年に始まりました。今回はちょうど30回目の節目にあたることから同所にヤマモミジの記念植樹も行われ、両市のさらなる友好親善を誓いました。